

## 会 議 録

会 議 名	令和5年度 第2回 東久留米市環境美化推進員連絡会
日 時	令和5年7月24日(月)午後1時30分～午後2時45分
場 所	東久留米市役所7階703会議室
出席委員 (9名)	中村委員、佐藤委員(花みずきの会)、小俣委員、岸委員、下崎委員、三浦委員、 松川委員(キャロットクラブ)、比田井委員(NPO 法人東久留米市文化協会)、吉澤委員、 [オブザーバー参加]沼崎氏(日本たばこ産業株式会社東京支社武蔵野サテライトオフィス)
欠席委員 (2名)	藤本委員、當麻委員(東久留米市シニアクラブ連合会)、末次委員
事 務 局	高柳計画調整係長、平井生活環境係長、後藤計画調整係主任
次 第	(1) 開会あいさつ (2) 議題 ① 令和5年度第1回連絡会会議報告(案)の確認 ② 令和5年度第1回環境美化マナーアップキャンペーンの報告 ③ 第27回東久留米市環境フェスティバルについて ④ 次期環境美化推進員への応募について ⑤ 情報交換 ⑥ その他
配布資料	・次第 ・【資料1】令和5年度第1回東久留米市環境美化推進員連絡会会議報告(案) ・【資料2】令和5年度第1回環境美化マナーアップキャンペーンの報告 ・【資料3】環境美化アンケート集計結果 ・環境美化推進員応募用紙
内 容	(1) 開会あいさつ<省略> (2) 議題 ① 令和5年度第1回連絡会会議報告(案)の確認 ・承認された ② 令和5年度第1回環境美化マナーアップキャンペーンの報告 ・5月10日(水)駅周辺清掃、啓発活動参加者42名 ・5月11日(木)滝山の清掃活動は雷注意報発令、雨天のため中止 ・環境美化啓発用マグネットを令和5年5月1日(月)～5月11日(木)まで貼付。 (西武ハイヤー(株)の車両:8枚 トーショー交通(株):10枚 公用車:26枚) ・4年ぶりに推進員以外の参加者を集めてのキャンペーンで、啓発用ティッシュの配布と清掃活動ができた。 ③ 第27回東久留米市環境フェスティバルについて ○アンケート結果について ・前回(令和元年度開催第23回環境フェスティバル)より11人多くアンケートにお答えいただけました。 ・今回は70歳以上の方に多く回答いただけました(全体の39%)。前回は26% ・まちでよく見かけるポイ捨てごみについて、今回から「マスク」を新たに加えたが、ペットのふん、食品などの容器包装類よりも多い結果となった。 ・環境美化マナーアップキャンペーンを年2回行っていることを知っている人の割合は、前

回調査時より 13 ポイント下がった。コロナ禍で3年間、市民を巻き込んだキャンペーンができなかった影響があると思われる。

- ・環境美化活動に参加したい人の割合として、「環境美化推進員に参加したい」人がいたので、連絡先を聞いている人には事務局から連絡をする。

#### ○ブースでの来客の様子について

- ・親子で来て、子どもと相談しながら回答してもらった。
- ・声掛けすることでアンケートに回答してもらえた。

#### ○その他

- ・事前準備で用意を頼んだ資料が少なかったため、作業に時間がかかった。お互いに要求したり確認することが必要だと思った。
- ・フェスティバル当日の推進員の配置について、第1回の連絡会で決定することを失念し、急遽電話で事務局から連絡をしてもらうことになった。
- ・会場の近くでフェスティバルに関するアンケートも取っていたことから、来場者がフェスティバルと環境美化のアンケートを混同してしまうことが散見された。

#### ④ 次期環境美化推進員への応募について

- ・7月15日号広報と市ホームページで募集をかけている他、募集チラシを作成し、駅のラックや市民プラザ、各地域センターに配架している。
- ・募集は7月28日(金)までとしているので、継続していただける委員は本日の会議終了後に。会議終了後の提出ができない場合は、28日までに事務局へ提出していただきたい。

#### ⑤ 情報交換

- ・やなぎくぼ広場に今のところごみを捨てる人はいなくなった。
- ・やなぎくぼ広場の隣の運動場でU字金具が5、6個見つかった。広場や運動場を借りて使ったのならきちんと片づけをして返してほしい。
- ・久しぶりのキャンペーンでのティッシュ配りは楽しかった。
- ・他の人にも美化推進員への参加を声掛けしているが、なかなか良い返事をいただけない。
- ・文化協会では、環境美化推進員への参加について輪番制にした。
- ・フェスティバルでアンケートに回答して連絡先を書いた方に連絡して勧誘していただきたい。
- ・白山公園のごみ箱があったところに花を植えているが、そこにごみ袋がくくりつけられている。他にもフェンスにボランティア袋がくくりつけられていて、家庭ごみも混ざっている。それは市で回収しているのか？  
⇒緑と公園係が公園ごとにある程度のルールを決めていると伺っているので、白山公園もそのようなルールなのかもしれないが、ボランティア袋に家庭ごみを混ぜて出してよいことにはしていない。
- ・東口中央公園の自動販売機の横に大きなボランティア袋が口を開けた状態でくくりつけられている。いっぱいになったら回収されるのかはわからない。  
⇒問い合わせの電話を見聞きすると、ボランティア袋を入手されている方々は様々な背景があって活動されている。例えば、善意でボランティア袋をもらって、ごみ収集、回収しているが、家に袋を置くスペースがないから回収途中のものは、何日間か活動して溜まったら連絡して集めてもらうなど、色々なルールやケースが場所ごとにある。
- ・ごみ収集の日に、一緒に持って行ってくれるので助かっているという意見がある一方、回収してくれないという意見がある。地域、収集する人の対応によってばらつきがある。

- ⇒例えば、ボランティア袋を提供するときに回収方法を記載した紙を添えるのはどうか。
- ・雨で近所になっている梅と土が流れて排水溝が詰まってしまった。市の方では「土は回収しない」と言われた。土に梅が混ざっていると腐敗してしまうし、土と梅を分けるのも大変。どうにかしてもらえないものか。
- ⇒公道であれば、管理課に連絡すれば引き取ってもらえるかもしれない。
- ・マナーアップキャンペーンは年2回やっているが、知らない人が、知っている人の3倍ほど多くいた。キャンペーンの回数を増やすなど、知っていただく努力をしないといけない。
- 以上